

月	学 習 活 動 (時数) 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	外部との連携 (人・もの・こと)
<b>「大月の今を知る」(50時間)</b>		
<b>大月町の食材～弟子入り体験から見えてくる大月町ならではの食材の価値～(20時間)</b>		
4	① 小学校で学んだことや総合的な学習の時間について振り返る。	
	① 振り返ったことから今の大月町について考える。	
5	① 大月町を盛り上げていくために、何に注目していけば良いだろうか？	
	① 大月町の食文化に着目して考えてみよう。	
	② 生徒の興味・関心に沿って、体験的に情報収集を行う。	
6	② ふれあいパークには、どんな食材が集まっているのだろうか？	
7	③ 食材を作っている人たちは、どのような思いでつくっているのか？どんな工夫をしているのか？どんな苦労や悩みがあるのだろうか？	ふれあいパーク 姫の里 ヤマニファーム
6	② 大月町の食材に関わる大人たちがどんなことを考えているのか、聞き取っていく。(弟子入り体験)	なす農家・オクラ農家・農協 タニフードサービス(力豚屋)
7	③ 体験内容や、聞き取りなどの情報収集から、グループごとに内容を整理し、共通点や類似点、違っていった点について、分析する。良さや魅力だけでなく、厳しさや切実な思いについても考察していく。	未来鮮魚
9	④ 大月町の食材の良さを広めていくために、自分たちにできることはないか考え、取り組んでいく。	
10	<b>大月町の食の魅力の発信～大月町の食材を使った親しみやすいレシピ開発を通して～(30時間)</b>	
11	① 多くの人たちに親んでもらえるように、大月町の食材を生かしたメニュー開発をするために、食材の扱いに詳しい人や生産者に話を聞き、調理法について考える。	
12	② 大月町の食材の活用方法について情報を集める。他校(佐賀中学校)とも交流し、地域の食材の活かし方について、情報を集める。	栄養教諭 未来鮮魚 高知県学校給食会
1	③ 実際に開発したメニューを作り、たくさんの人に評価してもらう。	教育長
2	④ これまでの活動から見えてきた、大月町の食の可能性や豊かさを実感するとともに、今年の活動を振り返り、今後豊かな食文化を継承していくために必要な活動を考える。	CIR
3		